

主務課：予報部予報課		関係課：数値予報課、情報システム課、観測部管理課		
業績指標名		単位	現況値（時点）	目標値（年次）
台風予報の精度（台風中心位置の予報誤差）		km	443 （平成12年）	360 （平成17年）
関連アウトカム目標（関連施策等） 災害による被害の軽減（台風・豪雨等に関する気象情報の充実・改善）				
<p>業績指標の解説</p> <p>「台風予報の精度（台風中心位置の予報誤差）」とは、台風の進路予報における予報円の中心位置と、対応する時刻における実際の台風の中心位置との距離（位置のずれ）をいう。北西太平洋にある台風の進路予報として、24時間・48時間・72時間先の台風の位置を予報円（台風の中心が70%の確率でその中に進むと予想される範囲を表示した円）の形式で発表しており、72時間先の精度を指標とする。なお、72時間先を指標とするが、24時間、48時間先についてもほぼ同じ割合で精度改善がなされる。</p> <p>台風の予報精度は、その位置、強度等によって異なるので、過去3年の平均で把握する。</p>				
<p>目標設定の考え方</p> <p>運輸多目的衛星（気象衛星「ひまわり」の後継機）の打ち上げによる新しい観測成果の入手、スーパーコンピュータを用いた細密な予測モデルの開発を進めることにより、48時間先の予報精度における過去の改善傾向と同等以上の改善を目指すこととし、平成12年末までの過去3年間の平均誤差は443kmを、平成17年には約20%改善した360kmを目標値とする。</p>				
（参考）過去の実績値				（備考）
H 8	H 9	H 1 0	H 1 1	H 1 2
（ ）	（380）	（536）	435 （389）	443 （404）
				数値は、1～12月の暦年集計 括弧内は、年ごとの実績値